



**■被害の概況**

水田などの農地では冠水や土砂の流入の被害が発生し、園芸施設でも冠水による本体の倒壊や付帯施設の損壊、内作物への被害などが多数発生しています。その他にも農機具の流失や家畜の溺死、果樹園への土砂流入、建物の床上浸水など、さまざまな被害が発生しています。

現在判明している共済加入者の被害状況は表のとおりです。

表：現在判明している被害状況（7月22日時点）

共済事業名	被害見込戸数	被害見込面積など
水稻共済	1,144	1,053 ヘクタール
園芸施設共済	56	105 棟
家畜共済	5	8頭
建物共済	48	55 棟
農機具損害共済	20	20 台
果樹共済	3	1.2 ヘクタール

熊本県農業共済組合  
組合長理事 池田 裕之

令和2年7月豪雨で、亡くなられた方にお悔やみ申し上げますとともに、被災された皆さまにお見舞い申し上げます。各地の崩壊した農道や土砂の流入した田畠を見ますと心が痛みます。1日も早い復旧を心より願っております。

NOSAI熊本では、迅速な被害状況の把握と損害評価に努め、早期の共済金支払いに向けて全力で取り組んで参ります。

## 令和2年7月豪雨



損害評価するNOSAI職員

### ■被害申告について

被害にあわれた方々は、大変な状況かと存じますが、共済金の支払い漏れが発生しないよう被害申告をお願いいたします。1日でも早い共済金支払いができますよう取り組んでいきますので、ご協力をお願いいたします。

また、共済部長さんならびに損害評価員さんは被害のとりまとめや損害評価をお願いする場合がありますので、ご協力ををお願いします。

## トラクターの公道運転、あなたの免許は大丈夫！？



作業機付きトラクターの公道走行について

検索

詳しい内容は、農水省のホームページをご覧になれるか、農機販売店にお問い合わせください。

作業機（ロータリー等）を直接装着したトラクター等の公道走行が可能になります。作業機を装着した状態で長さ4・7m、車両幅1・7m、高さ2・0mを超える場合は、大型特殊免許が必要になりますので注意してください。

免許取得をお考えの方は、最寄りの免許センターか農業大学校にお問い合わせください。

## 令和元年度 事業報告

### 引受実績

総額 6,987 億 3,027 万円

#### 家畜共済

引受 288,000 頭  
共済金額 54,880,275 千円

#### 果樹共済

引受 46,431.6 a  
共済金額 525,723 千円

#### 園芸施設共済

引受 22,085 棟  
共済金額 35,595,610 千円

#### 建物共済

引受 60,385 棟  
共済金額 573,239,370 千円

#### 農作物共済

引受 3,297,770.7 a  
共済金額 19,537,478 千円

#### 畑作物共済

引受 188,142.6 a  
共済金額 831,991 千円

#### 農機具共済

引受 6,798 台  
共済金額 14,179,220 千円

令和元年度  
農家負担掛金  
(令和元年度中に納めていただいた掛金)

#### 共済事業

#### 共済金

(令和元年度中にお支払いした共済金)

241,681,729

444,761,290

911,327,403

2,257,912,896

20,291,288

15,153,183

45,825,648

94,571,827

263,725,092

281,378,094

553,669,827

134,483,559

99,443,397

30,400,672

2,135,964,384

3,258,661,521

(単位 円)

## 令和2年度 事業計画

### 引受計画

総額 7,012 億 1,296 万円

#### 家畜共済

引受 292,207 頭  
共済金額 55,002,097 千円

#### 果樹共済

引受 47,774 a  
共済金額 555,793 千円

#### 農作物共済

引受 3,262,720 a  
共済金額 19,930,860 千円

#### 畑作物共済

引受 184,837 a  
共済金額 814,148 千円

#### 農機具共済

引受 6,964 台  
共済金額 14,512,640 千円

令和2年度  
園芸施設共済

引受 22,327 棟  
共済金額 36,862,610 千円

#### 建物共済

引受 60,464 棟  
共済金額 573,534,821 千円

令和2年度  
収入保険引受計画

引受経営体数 2,200体  
補償金額 25,740,000千円

# 果樹における夏期の気象災害対策について

熊本県農林水産部生産局 農業技術課農業革新支援センター 相川博志

## はじめに

梅雨明け後の盛夏期の天候は、その年の果実品質や収量を左右し、病害虫や生理障害の発生に影響します。さらに、近年は、温暖化に伴う大雨や酷暑など極端な気象による災害が起こりやすくなっています。そのため、日頃から災害に強い園地づくりを行つとともに、気象条件に応じた管理が行えるよう準備が大切です。

## 1 少雨・高温対策

### ① 水源の確保とかん水施設の点検整備

少雨の際、すぐに対応できるよう、かん水用の水源を確保しておきましょう。また、かん水設備の漏水・目詰まりなどを点検し、適切なかん水が可能か確認します。

### ② 地表面管理の徹底

草木栽培園では、樹と雑草が水分を競合するため、雑草は刈り取りましまよ。刈り取った草は、樹冠下にマルチング。また、裸地栽培園では地表面からの水分蒸発が大きくなるので、敷きワラ、敷き草、保水マットなどを実施します。

写真1 カンキツ苗木の敷きワラ



草、保水マットなどを実施します。

また、なお、水量が限られている場合は、全面に少量でかん水するより、局部（領域の30%程度）に絞り、集中的にかん水すると効果が高まります。

ナン・モモの「みつ症」などの生理障害は、高温・乾燥によって発生が助長されるので、土壤が乾燥する前にしっかりかん水します。なお、収穫間近の品目についても、果実品質を確認しながら品質が低下しない範囲のかん水に止め、収穫後に十分かん水しましょう。

### ③ 果実の調節

### ④ かん水

苗木や幼木は、根量が少なく乾燥の影響を受けやすいので、優先してかん水を実施します。また、苗木の周囲は敷きワラなどマルチングし、土壤乾燥を防止します（写真1）。なお、中晩柑を優先して摘果します。

柑橘「不知火」などの中晩柑は、果実

肥大を促すため積極的にかん水を実施します。

なお、水量が限られている場合は、全面に少量でかん水するより、局部（領域の30%程度）に絞り、集中的にかん水すると効果が高まります。

ナシ・モモの「みつ症」などの生理障害は、葉焼けなどの葉害が発生しやすいので、早晨など気温の高い時間帯に散布します。

## 2 大雨対策

### ① 集排水溝・側溝の点検・整備

台風襲来時にも集中豪雨が発生しやすいので、梅雨時期と同じく集排水溝や側溝を点検・整備し、園外から雨水が侵入しないように排水対策を行いましょう。

### ② 果実の品質保持および製果対策

温州ミカンのシートマルチ栽培では、品質保持のため雨水がシート内に侵入しないよう排水対策を徹底します。露地栽培では、果肉の急激な肥大による裂傷が発生します。土壌水分の調整を少なくするため、敷きワラや敷き草を行います。裂果した果実は摘果し、園外へ分消費を防ぎます。

### ⑤ 果実の日焼け対策

真夏の強い日射により、果皮の日焼けが発生します。柑橘では、日焼け防止被覆材（白色サンテなど）や樹冠表層摘要で対応します（写真2）。なお、白色サンテなどを果実に被覆する場合は、アザミワタ類の発生に注意が必要です。落葉果樹の棚栽培では、徒長枝を誘引し棚面を埋めることで果実の日焼けを防止します。ただし、必要以上に枝葉が繁茂してしまう場合は、枝を除芽することで水分消費を防ぎます。

写真2 白色化織布による日焼け防止



### ⑥ 病害虫防除

高温乾燥時は、害虫（シンクイムシ、アブラムシ、アザミワタ類、ハダニ類）が発生しやすいので、これら害虫を発見次第、早期防除に努めます。なお、高温条件での薬剤散布は、葉焼けなどの葉害が発生しやすいので、早晨など気温の低い時間帯に散布します。

# 診療所だより



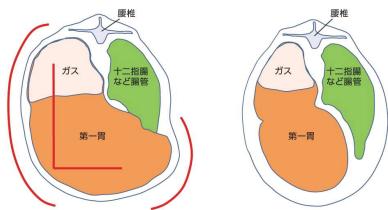
## 「迷走神経性消化不良」について考えていきましょう。



家畜診療所 菊池支所  
さいとう なつこ  
齊藤 菜津子 獣医師



▲「apple shape」を示す牛



▲正常牛の尾側断面図  
▲迷走神経性消化不良牛の尾側断面図

牛の後ろ姿がおかしい。まるでリンゴ（apple）とナシ（pear）を組み合わせたような形（apple shape）で、お腹の左側と右下が膨らんでいる。このような後ろ姿の牛を見たことはありませんか？その牛は迷走神経性消化不良に陥っている可能性があります。

◆迷走神経性消化不良とは？

第一胃および第二胃、あるいは第四胃からの食渣の移動が妨げられる疾患群のことです。複胃からの食渣移送が滞ることで、第一胃内にガスが発生します。ただし、必要以上に枝葉が繁茂している場合は、枝を除芽することで水分消費を防ぎます。

◆原因は？

迷走神経性消化不良の牛は、ほとんどの場合、食道が貯留することによって、食渣が膨満し、「apple shape」という特徴的な体形となります。

この他にも、白血病によるリンパ節の腫大や横隔膜を腸が貫通する横隔膜ヘルニアといった奇形が、迷走神経を障害したり、複胃を物理的に圧迫したりして食渣が移送されない原因となる場合もあります。

◆対応

迷走神経性消化不良の牛は、ほとんどの場合、予後不良で、長期の食欲不振に陥ります。次第に削瘦し、遂には衰弱死します。

また、不特定多数の原因が考えられることがから予防は困難といえます。なお、創傷性第一胃腹膜炎に関しては、マグネットを投与することで予防できます。迷走神経性消化不良は治療や予防の困難な疾患ですが、治療可能な類似症例もあります。牛のいつもと異なる後ろ姿を見つけた際は、速やかに獣医師にご相談ください。

① 迷走神経の傷害としては、釘などの金属を飲み込み第一胃を貫通することにより起こる創傷性第二胃腹膜炎、第一胃第三胃の炎症、潰瘍、肝臓癌、第四胃捻転や第四胃変位などが考えられます。

② 物理的障害としては、複胃内の腫瘍や腫瘍などの異物、妊娠後期の子宮による第四胃や十二指腸の圧迫などが考えられます。





# おじゃましま～す!!



## 大好きな牛と酪農経営

水俣市  
おお む た  
み ほ  
大無田 美穂さん(44歳)

昔から牛が大好きで、20年ほど前から酪農関係の仕事をしていました。縁あつて13年前に水俣にやってきました。酪農家のものと作業員をやつていました。2年前、勤めていた畠さんの勤めもあり、新規就農して酪農経営を始めました。2018年から2年かけて乳牛を48頭導入し、今では作業の全般と飼の配合まで行っています。昨年は人工受精師の免許も取得しました。無事に受胎したときは、とてもうれしいですね。

生き物の仕事をなので毎日忙しいですが、合間を見て趣味の油絵を描いてリフレッシュしています。現在、乳牛は3産で入れ替えていますが、長命連産を目指し、大好きな牛たちと楽しく仕事を頑張っています。



①一人暮らし  
②搾乳牛44頭、育成牛6頭



①祖父母と両親、兄、妹、弟の8人家族  
②繁殖牛50頭、子牛4頭



## 畜産で地域農業に貢献

菊池市  
きく ち  
たい し  
水上 大志さん(24歳)

高校を卒業後、畜産を学ぶため宮崎大学畜産別科へ進みました。1年間勉強し、19歳で就農して5年目になります。実家も畜産農家なので、始めは両親の指導のもと飼育管理について学びながらのスタートでした。その後、徐々に仕事を任せられるようになり、今いる4頭の子牛を、初めて自分名義で出荷できます。待ち遠しいですね。

現在、牛舎も増築しているので、毎日忙しく、なかなか休むことはできませんが、たまの休みには、ドライブも兼ねて県外の畜産市場のセリを見に行くのが楽しみです。

30歳までに繁殖牛100頭まで増やし、健康な牛を出荷したいと思っています。また、畜産を通して地域の発展にも貢献したいですね。



①祖父母と両親、妻、子ども3人の9人家族  
②ミニトマト130kg、スイカ50kg、水稻230kg



## トマトで作る人との繋がり

熊本市  
くま の  
住野 一弘さん(43歳)

勤めていた会社を辞めて、27歳のときに就農して17年目です。現在は両親が主にスイカの栽培をしていて、私と弟、従業員さんとミニトマトの栽培をしています。10年前、本格的にミニトマト栽培を始めて、規模、販路とともに大きくなっていました。将来的には加工、販売までしたいので、よりおいしい作物作りに注力していきたいです。知り合った人に、「トマト食べたよ。おいしかった」と言われたり、そこの人々との繋がりが広がり、自分自身も人と繋がりで成長していきたいと思っています。

今の楽しみは子どもの成長です。少年野球をしていますが、上達するだけでなく、元気に挨拶できることがうれしいですね。子どもと一緒に自分自身も人との繋がりで成長していきます。

毎日一生懸命頑張っている組合員さんにお聞きしました。

①家族構成 ②経営内容



## 農業の魅力、子どもたちへ

松橋町  
すな はら

そ ら  
砂原 青空さん(20歳)

農業高校の実習で農業の楽しさを知り、より専門的な知識を学ぶため農業高校へ進学しました。今年卒業し、4月から就農しています。小学生の頃から、祖父が運転するトラクターに乗せてもらったり、トマト栽培を手伝ったりと農業に興味がありました。その後、高校・大学と進み、実習を重ねるうちに、農業のやりがいを再認識しました。今は、農業後継者が少ない厳しい状況ですが、「自分たちが農業をやつしていく」という意志を持ち、取り組んでいきたいです。そして、子どもたちにも農業の楽しさを伝えたいと思います。

今後は、生産から販売まで行う農業を目指し、インターネットなどを活用し、販路の拡大にも取り組んでいきたいと思います。



①祖父母と両親、兄、妹の7人家族  
②水稻500kg、トマト70kg、メロン20kg

## 感謝の気持ちで酪農

な す  
那須 勇一さん(42歳)

あさぎり町  
あさ ぎり

な す  
那須 勇一さん(42歳)

て自分の手ができるようになりました。面倒見度の高い人です。今後は、先輩方のアドバイスを生かして成長し、増頭もして安定した経営を夫婦で目指します。自分と同じ立場の人方が現れたら、次は自分が手助けをしたいですね。

今では飼料作りから搾乳まで、全

高校卒業後、建設関係の会社に7年間勤務した後、畜産法人で働いていました。そこで働くうちに畜産に興味を持ち、自分も酪農経営をやりたいと思つやすくなりました。

経営を始めたために、勤めていた法人大で改めて3年半勉強させてもらいました。その後、当時の酪農組合長の協力もあり、3年前、酪農経営を始めたのですが、協力していただいた方々には、とても感謝しています。



①妻と2人家族  
②搾乳牛27頭

玉東町  
た け し

## 農業で作る家族との時間

お や ま  
小山 猛史さん(32歳)・妻 未来歩さん(33歳)

農業高校卒業後、社会勉強も兼ねて会社に勤めていましたが、農業をやりたい思いが強くありました。2年前に脱サラし、農業高校で1年間勉強して昨年就農しました。今5人の子どもがいます。農業は自分たちのベースで仕事ができるので、子どもの行事にも参加できるし、忙しいときは子どもたちと一緒に仕事ができます。仕事の時間も家族との時間になっています。収穫のときの子どもたちの笑顔が、頑張って良かったと思う瞬間ですね。

来年はミニトマトを大幅に増やす予定です。宝である地域の先輩農家や電話一本で手伝いに駆けつけてくれる大學生の友達と、今後も安全でおいしい野菜を作りたいです。



①妻と子ども5人の7人家族  
②ミニトマト15kg、路地ナス10kg